

## ≡ 1930年頃のヘリテージ広場 ≡

### ① ヘリテージ広場

1930年頃の典型的な南部アルバータ州の町の広場。この区域は年中オープンで、カルガリーで三番目のカナダ太平洋鉄道 (Canadian Pacific Railway) の駅 ②、4つの店、古めかしい写真館 ③、レストラン ④、カフェ ⑤、地ビールメーカー ⑥ を正確に再現しています。

### ⑥ ガソリン・アレイ博物館

この75,000平方フィートの建物の設計は以前のカルガリー公設市場がもたっています。この博物館はクラシックカーや、オイル・ガス関係の遺物工芸品の世界最大の公共コレクションです。内燃機関は私たちの生活、仕事、遊びのあり方を変えましたが、関連製品の巧みなマーケティングが景観を様変わりさせてしまいました。\*階下のショールームも是非ご覧ください。

### ⑦ カナダ女性のフェイマス・ファイブ (Famous Five) センター

ヘリテージ・パークの最新の展示物はネリー・マクラング (Nellie McClung) が1920年代に住み、何冊かの重要な著作を行った家の複製です。ネリーは、女性の権利と自由の為に戦ったフェイマス・ファイブと呼ばれるアルバータの女性グループの一員で、女性の権利における不朽の功績となり、カナダの歴史を変えたのです。

## ≡ 1910年当時のプレーリー・レールウェイ・ビレッジ ≡

### ⑧ ミドナポア (Midnapore) 駅

典型的なプレーリー州の鉄道の町を模したヘリテージ・パークの1910年当時の町に入っていきます。1885年に当時としては最長かつもっとも費用を要したカナダ太平洋鉄道 (Canadian Pacific Railway) が完成後、1901年と1911年には西部への移住が413%増大しました。このパークではあちこちにカナダの重要な鉄道の歴史が展示されています: 古めかしい蒸気機関車をじっくり見たり、ここからそれに乗って時代をさかのぼるレールカー・ショップ ⑨、およびラウンド・ハウス ⑩。このパークには3つの鉄道駅があります ⑪ ⑫。

### ⑬ プリンズ・ハウス

名高いビジネスマンであったピーター・プリンズ (Peter Prince) の優雅な家です。プリンズはオー・クレア & ボー・リバー製材会社 (Eau Claire & Bow River Lumber Company) を経営し、カルガリー市に電力を供給するカルガリー水力発電会社 (Calgary Water Power Company) の設立に助力しました。プリンズはサイエンティフィック・アメリカン誌に掲載された設計図を用いて1894年にこの豪華な家を建てました。このパークのあちこちに、芝生屋根の掘っ立て丸太小屋から材木、レンガ、また石造りの家まで様々なタイプの家々が再現されています。芝生屋根の掘っ立て小屋 ⑭ を建てるには\$6、またウェブスター・ハウス ⑮ のような質素な木造家屋ならば\$1,000ぐらいで建つでしょう。

### ⑯ 石造りの家 (サンドストーンハウス)

1886年11月7日にカルガリーのダウンタウンに壊滅的な火事が起こり、当時木造であった家がほとんど消失しました。その後、カルガリーの人たちはサンドストーン (砂岩) で家を建てるようになりました: これは耐火で、作業しやすく、近辺ですぐ手に入りました。一時多数の建物がこの材料を用いて建てられたので、カルガリーには“サンドストーン・シティー”というあだ名が付けられたほどです。

### ⑰ ディングマン (Dingman) 一号試掘井

これは1912年5月14日にアルバータの丘陵地帯でディングマンが石油を掘り当てた井戸の複製です。この発見はアルバータの最初の石油ブームに火をつけ、最終的には牧場産業や農業をしのご事になりました。

### ⑱ バルカン・アイスクリーム・パーラー

ヒストリカル・ビレッジは、沢山の商売、町役場、それにエンタテインメントがある、反映しながらも典型的なプレーリー州の町を再現しています。他の建物は見かけを立派にする為に見せかけの正面外観を持つものが多かったのですが、この木造建築は型押し金属板で覆われていました。店を巡り、フレットの鍛冶屋 ⑲ やストラスマア・スタンダード新聞社 ⑳ を訪ねて、商売人が忙しく働くのを見て、アンチック・ミッドウェイ ㉑ やバロンズ・スヌーカー・パーラー ㉒ でゲームを楽しみましょう。

### ㉓ ウェインライト・ホテル (Wainwright Hotel)

このホテルは当初は鉄道が町に停車するのを見越してアルバータ州のデンウッド (Denwood) という小さな町に建てられました。しかし停車場がウェインライトの町を飛び越して3マイルも西になった時に、町の人々はこのホテルをコロに乗せてあっさりと移してしまいましたが、それには三ヶ月かかりました。部屋に一週間泊まるのに何ドルかかりましたが、三ヶ月の奉仕の代償として馬の貸し厩舎 ㉔ に何日か泊まる事も出来ました。

### ㉕ ウィン・チョン・ランドリー

中国人移民は鉄道の建設には不可欠でした。彼らは使い捨ての労働者のように扱われ、一旦鉄道が完成すると何も手に残りませんでした。沢山の中国人移民はほとんど元手の要らない洗濯屋やカフェなどの不人気な仕事につき、長いきつい労働を強いられました。

### ㉖ ウィードン・スクール (Weedon School)

典型的な一部の校舎でグレード1から8までの生徒を教えていました。その後も教育を続けたい生徒はもっと大きな町に移らねばなりません。生徒達は農場の仕事がある為に頻りに学校を休んでいました。

### ㉗ ザ・コテージ・ホスピタル (The Cottage Hospital)

この病院、牧師館、およびセントマーチンズ英国正教会 (St. Martin's Anglican Church) ㉘ は、一体となってゆりかごから墓場までこのコミュニティに仕えました。ザ・コテージ・ホスピタルの設備は質素で、手術は食堂のテーブルの上で行われました。

### ㉙ バーンサイド・ランチハウス (Burnside Ranch House)

暖かく親切なウェスタンホスピタリティーと牧場のゆったりとした雰囲気と共存するこの家に足を踏み入れましょう。南部アルバータ州の経済と文化的アイデンティティーは農業と牧場経営に根ざしています。畑で冬小麦を生育、収穫し、家畜と共に小さな混合型農場を形成しています。

## ≡ 1860年頃の毛皮交易市場と先住民宿营地 ≡

### ⑳ 先住民宿营地

ティピス (Tipis - アメリカインディアンの円錐型テント) は、準遊牧民であるプレーンズインディアンにとっては理想的な住居でした。女性がティピスの構築、メンテナンス、および移動を担当していました。中に入って何千年にもさかのぼる物語を聞き、ドラムの円陣に参加し、先住民の遺品について学びましょう。

### ㉑ ハドソン湾会社 (The Hudson's Bay Company) の毛皮交易所

ハドソン湾会社は1670年に国王チャールズ二世の勅許によって設立され、ハドソン湾に流れ込む川の全ての流域での権利を与えられました。その主要な商売は先住民およびメティスと呼ばれる混血の人たちにヨーロッパの製品を渡し、その代わりに毛皮、特に当時ヨーロッパでビーバーの帽子に人気があったのでビーバーの毛皮などと物々交換していました。友好的な毛皮交易にかかわり、ボエジャー (運び屋) になりましょう!

## ≡ 1880年頃の鉄道がない頃の開拓地 ≡

### ㉒ ベリー・クリーク・ノースウェスト騎馬警官 (Berry Creek North West Mounted Police) 詰め所

この地方の当初の開拓地は数軒の粗末な丸太のほったて小屋とテントだけで始まりました。1860年代後期から1870年代初期にかけては相対的に無法地帯であり、無情なウィスキー商人達が先住民達を搾取していた時代でした。ノースウェスト騎馬警官は1873年に設立されて西部に派遣され、ウィスキー商売を食い止め、治安を確立し、一般的にこの地域を安全な開拓地にする事でした。

### ㉓ リビングストン・ハウス

サム・リビングストンとその混血の妻ジェーン・ハウスは14人の子供達を持ち、この地域で最初の入植者の一人でした。サムは創造力に富む農民で、熱心なハンターであり、厳密には無断居住者でした。彼は他の入植者と共に開拓者権利協会の設立に尽力し、土地の法的所有権を得る為に自治政府に嘆願を行いました。

# ガイド無しの 徒歩ツアー

ヘリテージパーク・ヒストリカル・ビレッジ  
HERITAGE PARK HISTORICAL VILLAGE

JAPANESE



HERITAGE PARK

カナダ最大の生きた歴史の博物館

# カナダ最大の生きた歴史の博物館であるヘリテージパーク・ヒストリカル・ビレッジへようこそ

皆様は今まさに過去が目の前でよみがえって来るのを見たり感じたりする事が出来ます。このユニークなパークのアトラクションや展示物は1860年代から1950年代にわたる西部カナダの歴史をカバーしています。象徴的な歴史が保存されているだけではなく、良好な作動状態で今でも生きているように表現されています。本物の蒸気機関車に乗り、プレーリー地方の町の人たちと共に昔風のアイスクリームを作り、一部屋の校舎を探索し、アンティークの催し物会場を楽しんで、カルガリーに一隻しかない外輪船で出航しましょう。

二十世紀初頭には南部アルバータにはわずかの日本人しか住んでいませんでした。この辺りに来た最初の日本人移民はほとんどが鉄道建設や灌漑の仕事に従事する臨時雇いの労働者でした。一部の人たちはサトウキビ畑や、炭鉱で働きました。1907年には移民は制限されており、第二次世界大戦が始まった時までには、アルバータ州に住んでいた日系人はたったの540人でした。

ヘリテージパークには日系移民に関する展示はありません。



1900 Heritage Drive SW, Calgary, Alberta T2V 2X3  
 電話 403.268.8500 ファックス 403.268.8501  
 www.HeritagePark.ca



1910年当時のプレーリー・レールウェイ・ビレッジ

1930年頃のヘリテージ広場

1860年頃の毛皮交易市场と先住民宿营地

入り口

1880年頃の鉄道がない頃の開拓地

- ① 食べ物
- ② 洗面所
- ③ 現金自動支払い機
- ④ 落とし物
- ⑤ 応急手当
- ⑥ 乳母車のパーキング
- ⑦ ご案内
- ⑧ 喫煙指定区域